

令和7年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	横須賀市聴覚障害者協会		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		□ボランティアグループ等
	□市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	□協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	手話による傾聴ボランティア		
事業の目的	手話を母語とする高齢のきこえない・きこえにくい人の交流の場の提供と傾聴		
事業概要	<p>生まれたときから耳がきこえず、手話を母語として生活してきた孤立しがちな高齢ろう者に対し、手話で会話ができる場所を提供しています。手話で楽しくおしゃべりをしたり、様々な趣向を凝らしたゲームや季節に合わせた工作など、誰でも参加できる内容で行っています。また参集型の活動に参加しにくい方に対しては、個別にご自宅や施設にお伺いし、おしゃべりや傾聴を行っています。終わった後の利用者の方々の笑顔を見ると「手話言語で気兼ねなく会話の出来る場所」の重要性を改めて感じると共に、きこえない・きこえにくい人にとって大切な言語である手話をこれからも大切にし、地域に根付いた「手話ベリカフェ」「個別型傾聴」をしっかり行っていきたいと思います。</p> <p>① 「手話ベリカフェ」・・・毎月1回開催 場所：横須賀市立総合福祉会館 毎月10～16人の利用者さんに対して、まずはお茶を飲みながら一息ついてゆっくりおしゃべりをさせていただきます。その後にゲームに参加、お茶タイムを設けた後に工作などを行い、工作物は持ち帰っていただきます。ゲームや工作も決して無理強いせず、一人ひとりの様子を見ながらその方のペースに合わせて行っています。登録スタッフも38人いますが、毎回約15人、利用者さんとほぼ同じ人数が参加し、安全面に配慮しつつ一緒に楽しい時間を過ごせるよう心掛けました。</p> <p>② 「個別型傾聴」・・・要望に合わせて7回 場所：個人宅 毎月の手話ベリカフェに都合がつかなかった方や会場での参加が難しい方に対し、スタッフがご自宅にお伺いし、約1時間ほどおしゃべりや傾聴を行いました。</p> <p>③ 「傾聴学習会」・・・2回 場所：横須賀市立総合福祉会館 今年度は手話ベリカフェのゲーム企画に役立つ「レクリエーション介護」と、高齢者とのコミュニケーションの参考になる「回想法」についての学習会を行いました。どちらも実技やワークを交えた実践的な内容で、楽しく学び合うことができました。</p>		
成果や課題	手話による傾聴ボランティアも3年目となり、定期的に参加して下さる方も増え、利用者の方々にとってもなくてはならない活動になってきました。また新しく参加して下さる方も増えています。しかし利用者の増加に対して送迎ドライバーの不足が慢性的な課題となっています。また月に1回以上の活動を求める期待の声に対してどう応えていくか、また今後の資金の確保も喫緊の課題です。		
今後の展望	今後も同様の手話ベリカフェを行い、利用者の方にさらに楽しんでいただける企画を考えていきたいと思っています。参集が難しい方に対しては引き続き個別型傾聴を実施し、ひとつひとつ丁寧な活動を心掛けていきます。この活動が一人でも多くの高齢ろう者に届くよう更に周知に力を入れて、賛同して下さるスタッフや協力者も増やし、今後も長く活動していきたいと考えています。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付			